

4. 適正な作業について

(1) 作業手順

フロン類の回収業務は、以下の手順で実施してください。

① エアコンの有無・フロン類種別の確認

使用済自動車を引き取ったら、エアコンの有無・フロン類の種別を実車で確認します。

② 使用済自動車の引取報告

実車の装備と引渡報告された装備の情報とが正しいことを確認して引取報告します。

③ フロン類の回収(1度目)

必ず過充てん防止機能を使用して、使用済自動車からフロン類を回収します。

④ 10分程度放置

1度目の回収が終了したら、漏れ防止バルブを閉じた上で10分程度放置します。

⑤ フロン類の回収(2度引き)

10分程度経過したら2度目の回収(2度引き)を行います。

⑥ フロン類の回収完了

2度引きが完了し車両側の圧力が大気圧以下になったら、漏れ防止バルブを閉じた上で車両からホースを外します。

⑦ フロン類の都度入力

フロン類を回収し終わった車両は都度入力を行っておきます。

⑧ ポンベが満タンに近づいたら、こまめに重量計で重量確認

⑨ パージ作業の実施

ポンベが満タンになった時、また、1台の回収機で異なるガス種を回収するためにポンベを交換する時は、パージ作業を行った上でポンベを交換します。

⑩ 漏れ防止キャップの装着

回収機からはずしたポンベには、速やかに漏れ防止キャップを取り付け、専用ケースに梱包します。

⑪ 回収ケースへの梱包

満タンになったポンベは専用ケースに梱包し、作業確認ステッカーへ作業実施日を記入します。

⑫ 大型ポンベ・パレットの集荷依頼

満タンになった大型ポンベ・パレットを引き渡す時は、ヤマトコンタクトサービスに集荷依頼を行います。

⑬ 大型ポンベ・パレットの引渡し

立ち会いのもと、満タンになった大型ポンベ・パレットを引き渡します。

⑭ フロン類の引渡報告

大型ポンベ・パレットを引き渡したら、速やかにフロン類の引渡報告を行います。

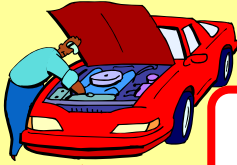
一連作業の繰返し

4. 適正な作業について

(2) 適切な回収作業について

① 装備（フロン類有無・種別）の確認

〔実車装備確認〕



〔使用済自動車の引取報告画面確認〕

1. 引取実施事業者（自社）情報	
事業所コード	XXXXXXXXXX
事業者/事業所名	詳細 ○○フロン回収業者 ○○事業所

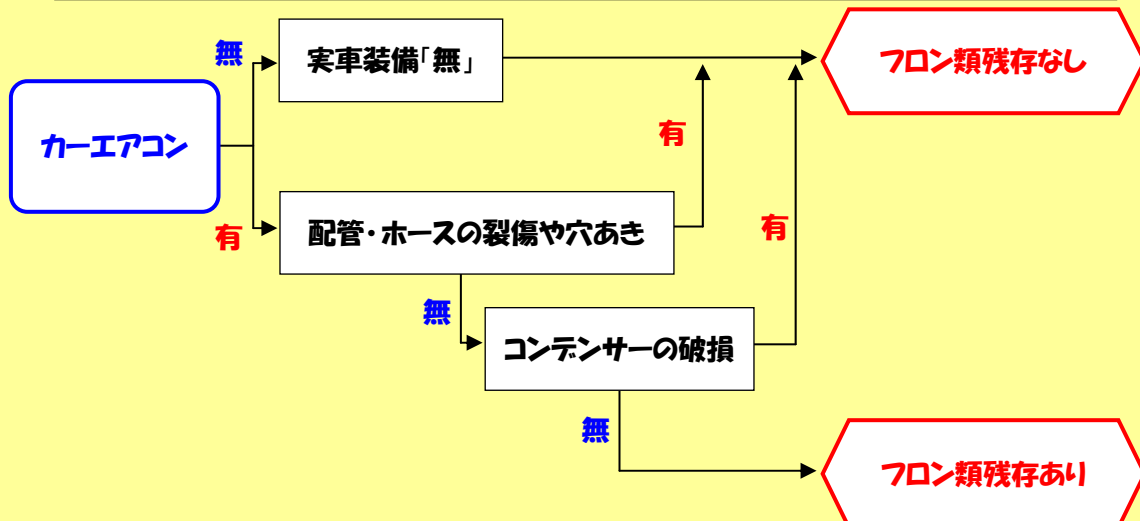
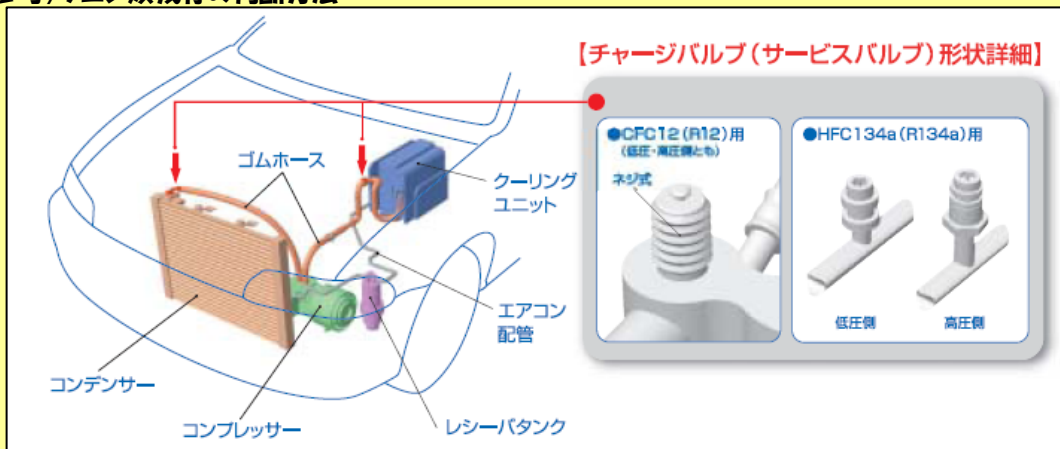
2. 引取対象車台の一覧						
事業所名	車台番号	型式	車名	フロン回収車種クラス	フロン種別	引取報告済運転
詳細) XXXX-XXXX	詳細) XX-XXXX	○○	○○○	廃用車	CFC	<input type="checkbox"/>

「実車装備」と「フロン種類」が整合しているか確認

💡 「フロン類回収工程」ではなく「解体工程」に引渡報告されている場合は、フロン類装備「無」で引渡報告されている可能性があります。

※ 事故等でフロン類の配管・ホースの裂傷やコンデンサーの破損がなければフロン類装備「有」で引取報告!!

(参考)フロン類残存の判断方法



4. 適正な作業について

② 使用済自動車の引取報告

〔フロン類回収工程 1.1 使用済自動車の引取報告〕

1. 電子マニフェストによる移動報告		
1.1	引取報告	使用済自動車の引取報告
1.2	引渡報告	解体業者への使用済自動車の引渡報告
1.3	引渡先確定済車台の一覧	
1.4	荷姿作成	フロン類引渡報告（メーカー直送）
1.5	都度入力・引渡報告	ボンベ・バルブの登録または4カ
1.6	回収連絡	フロン類回収連絡（発送拠点経由：回収拠

①の整合を確認してから引取報告をします。



③ フロン類の回収

〔過充電防止機能を使用した回収作業〕



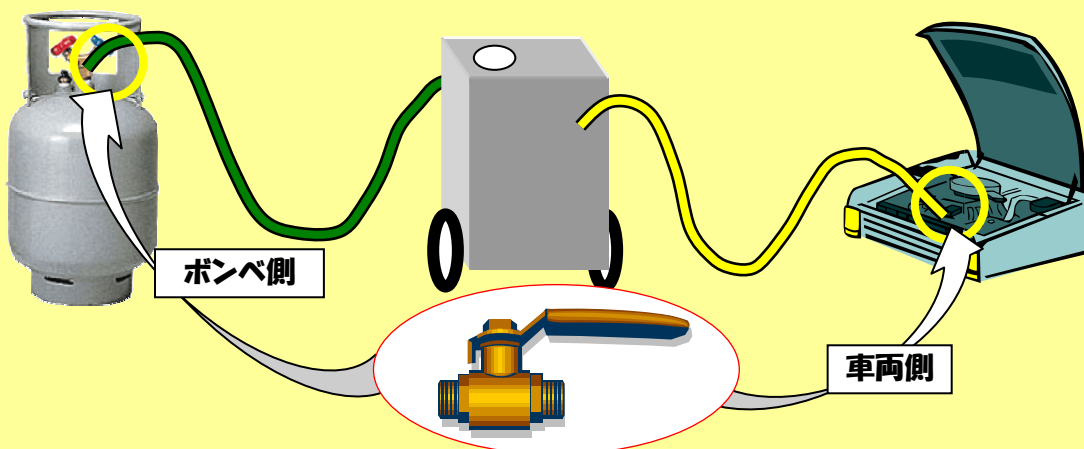
～過充電防止機能の例～
フロートセンサー



💡 過充電防止機能の詳細については 13 ページをご確認ください。

④ 10分程度放置

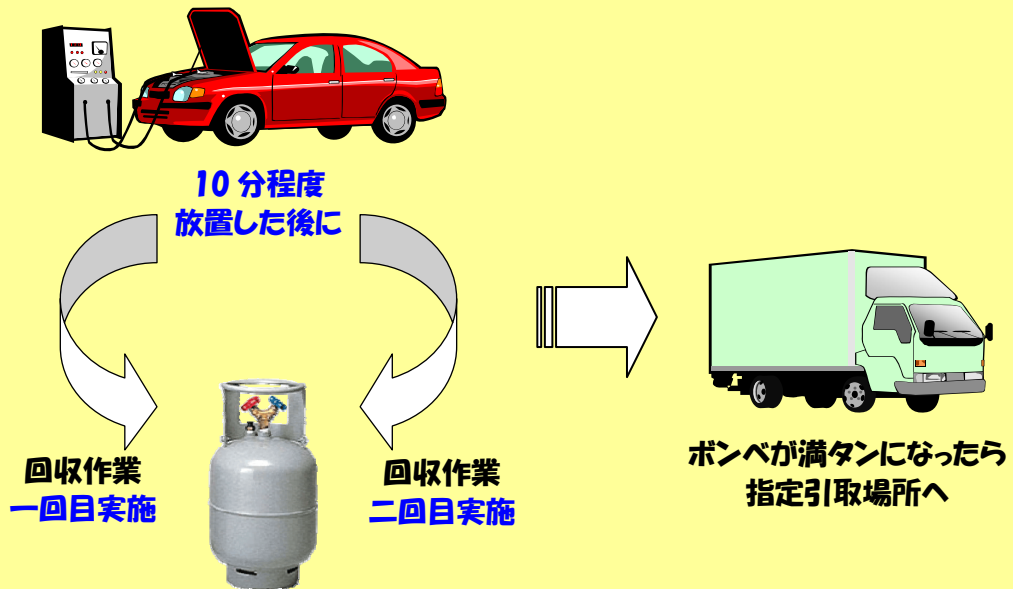
〔漏れ防止バルブを閉じて待機〕



💡 ホースや回収機に溜まったフロン類が漏れないよう、漏れ防止バルブを締めた上で10分程度放置します。

4. 適正な作業について

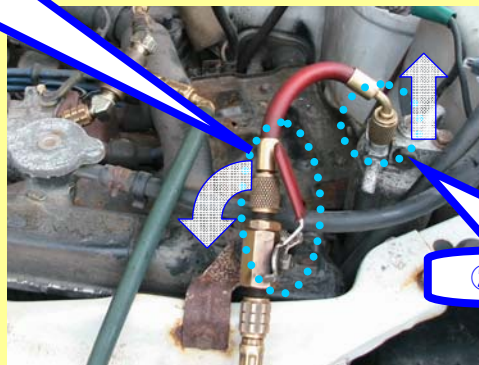
⑤ フロン類の回収（2度引き） 〔回収機のゲージが上昇したら再度回収〕



💡 放置時間が短いと、オイルに溶け込んだフロン類が気化しきれずほとんど効果がありません。2度引きを実施することで、20～50g程度回収できる可能性があります。

⑥ フロン類の回収完了 〔漏れ防止バルブを閉じて車両からホースをはずす〕

① 漏れ防止バルブを閉じる



② 車両からホースをはずす

4. 適正な作業について

⑦ フロン類の都度入力 〔フロン類回収工程 1.5 都度入力・引渡報告〕

1. 電子マニフェストによる移動報告

1.1	引取報告	使用済自動車の引取報告
1.2	引渡報告	解体業者への使用済自動車の引渡報告
1.3	引渡先確定済車台の一覧	
1.4	荷造作成	フロン類引渡報告 (メーカー直送)
1.5	都度入力・引渡報告	ボンベ・パレットの登録は1.4から、ボンベに車
1.6	回収連絡	

1. 引渡実施事業者 (自社) 情報

事業所コード	X000000000000	事業者/事業所名	〇〇フロン類回収業者	取扱フロン種類	CFC/HFC
--------	---------------	----------	------------	---------	---------

2. 引渡先確定済荷姿の一覧

※都度入力をする場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。
引渡報告をする場合には、「引渡報告対象選択」をチェックし、「センターへ報告」ボタンをクリックしてください。

該当荷姿1件です

最終確定日	引渡先事業者/事業所名	荷姿ID	ボンベ・パレット番号	フロン種類	ボンベに充填された車台数			都度入力 (荷姿内容変更)	確定取消	* 引渡報告対象選択
					乗用車等	小型バス	大型バス			
X000/X0/X0	〇〇フロン類指定引取場所	X0-X0000000-X00000	X000X	CFC	3	0	0	3	変更	<input type="checkbox"/>

4. 引取報告済車台の一覧

該当車台13件です

引取報告日	車台番号	型式	車名	フロン種類	フロン種類	引渡報告対象選択
X000/X0/X0	X000-X000	X0-X000	〇〇〇	乗用車等	CFC	<input checked="" type="checkbox"/>
X000/X0/X0	X000-X000	X0-X000	〇〇〇	乗用車等	CFC	<input type="checkbox"/>
X000/X0/X0	X000-X000	X0-X000	〇〇〇	乗用車等	CFC	<input type="checkbox"/>

回収が完了した車台は都度入力をします。

💡 都度入力画面を印刷し、現場作業時のチェックシートとして活用すると、効率的に実績の管理を行うことができます。

⑧ 過充てんの防止 〔ボンベが満タンに近づいたら、重量計で過充てんを防止〕

容量: 21リットル

ボンベ空重量+21kg=満タン重量

過充てんポンベは写真のように破損する危険があります

💡 あらかじめ空ボンベの重量を測定し、その空重量とボンベ刻印の「V」以降の数値とを足した値を満タン重量としてボンベに表記しておきます。(12ページ参照)
毎朝始業時に重量を測定して満タンの目安を立て、満タンが近づいたらこまめに重量計で確認することをおすすめします。

4. 適正な作業について

⑨ パージ作業の実施

〔ホース・回収機内に残ったフロン類をポンペに充てん〕

② 漏れ防止バルブを締め
ポンペをはずす



① パージを行い



1 台の回収機で CFC/HFC の両方を回収している場合は異なるガス種の混入を防ぐため、また、ホース・回収機からの漏れを防ぐため、パージ（回収機によってはリフレッシュ）作業を行います。

多い場合、200g 程度のフロン類がホース・回収機内に溜まっています。

（参考）ポンペ・回収機の管理方法について

ポンペや回収機は、日常の取扱いや管理が重要です。

管理が不十分なポンペはフロン類の漏れの原因や高圧ガス保安法違反になります。

以下に代表的な漏れ対策をご紹介します。

① バルブに異常がないことを常に確認してください。

バルブにゆるみや変形があるとフロン類が漏れてしまう可能性があります。

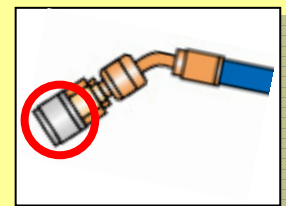
② 回収作業やポンペの保管は直射日光を避け40℃以下の場所で行ってください。

ポンペのバルブには「可溶栓」が取り付けられています。可溶栓はハンダが使われています。充てんしたフロン類が温度上昇により体積膨張したときに、ポンペの破裂を防ぐためハンダが溶けてフロン類を外部に逃がす役割をもっています。ポンペの温度が40℃を超えた場合、可溶栓が溶けてフロン類が漏れてしまう可能性があります。



③ 回収機や付属品のメンテナンスを定期的に行ってください。

ホースのカプラは接続を繰り返すうちにシール部が摩耗し、フロン類が漏れてしまう可能性があります。



フロン類の漏れが発覚した場合は、至急管轄の自治体へご相談ください。

4. 適正な作業について

(3) 適切な引渡し作業について

⑫ 大型ボンベ・パレットの集荷依頼 〔引渡報告画面での集荷依頼〕

1.4	荷姿作成	フロン類引渡報告（メーカー直送）
1.5	都度入力・引渡報告	ボンベ・パレットの登録は1.4から
1.6	回収連絡	フロン類回収連絡（発送拠点経由・回収拠
1.7	連絡先確定済荷姿の一覧	
1.8	荷姿作成	フロン類引渡報告（発送拠点経由
1.9	荷姿内容変更・引渡報告	パレットの登録は1.8から
1.10	フロン類再利用車台連絡	フロン類再利用車台の連絡
1.11	再利用連絡済車台の一覧	

引き渡す準備ができたボンベは集荷依頼を行います。



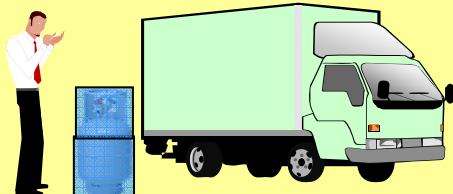
引渡報告画面での集荷依頼の他に、電話・FAXでも行えます。各集荷依頼方法の詳細は14～15ページをご確認ください。

⑬ 大型ボンベ・パレットの引渡し 〔指定引取場所への引渡し〕

引渡しの際は立ち会うこと



ボンベと専用伝票に記載しているボンベ番号が整合しているか確認すること



⑭ フロン類の引渡報告 〔ボンベを引き渡したら速やかに引渡報告を実施〕

1.1	引取報告	使用済自動車の引取報告
1.2	引渡報告	
1.3	引渡先確定済車台の一覧	解体業者への使用済自動車の引渡報告
1.4	荷姿作成	フロン類引渡報告（メーカー直送）
1.5	都度入力・引渡報告	ボンベ・パレットの登録
1.6	回収連絡	
1.7		
1.8		
1.9		

引渡しが終わったボンベは、速やかに引渡報告を行います。

※ 引渡報告が遅れると、空ボンベの返却も遅れます!!

1. 引渡実施事業者（自社）情報								
事業所コード	XXXXXXXXXX003							
事業者/事業所名	〇〇フロン類回収業者							
取扱フロン種別	CFC/HFC							
2. 引渡先確定済荷姿の一覧								
※都度入力をする場合には、「変更」ボタンをクリックしてください。引渡報告をする場合には、「引渡報告対象選択」をチェックし、「センターへ報告」ボタンをクリックしてください。								
該当荷姿は1件です	前ページ 次ページ 1 / 1 ページ 最新の一覧取得 表示件数 50件 並び替え 荷姿ID							
最終確定日	引渡先事業者/事業所名	荷姿ID	ボンベ・パレット番号	フロン種別	ボンベに充填された車台数	都度入力（荷姿内容変更）	確定取消	※ 引渡報告対象選択
XXXX/XX/XX	〇〇フロン類指定引取場所	XX-XXXXXXX-XXXXXX	XXXXX	CFC	乗用車等 3 0 0 3	変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>